

地域おこし協力隊研修、採用・活動相談承ります



地域おこし協力隊研修

地域おこし協力隊研修・講演実績多数（裏面参照）。

2017年から2020年まで岐阜県関市地域おこし協力隊として活動した経験から、任期後の定着率を上げるためのノウハウを余すところなくお伝えします。

任期スタート直後にどう動くのか？誰と動くのか？どれだけ動けば成功するのか？

二年目、三年目にどうステップアップしていくのか？

地域とどのようにコミュニケーションをとるのか？

成功も失敗も多数経験し、最終的に定住した者だからこそ伝えられることがあります。

また、自身がマルチワーカー（多数の業を組み合わせた複業で生きていくスタイル）として活動しているため、就業や起業以外の選択肢を模索している隊員の参考になる情報を提供することができます。

地域おこし協力隊アドバイザー派遣

地域おこし協力隊の活動を、時にはその道の経験者に相談してみませんか？

協力隊本人からの相談だけではなく、行政や受け入れ団体、地域からの相談も大歓迎です。

「初任者としてどう活動したらよいのか？」
「起業を考えているが、具体的なステップは？」
「新隊員を採用予定だが、どう地域と合意形成を取ったらよいのか？」等々、さまざまな課題に伴走します。



SDGsカードゲーム

カードゲームを通して、SDGsや地方創生について考えてみませんか？

弊社では、2030SDGs、SDGs de 地方創生カードゲームの公認ファシリテーター資格を保有しています。

「SDGs de 地方創生」とは、SDGs の考え方を地域の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し考えるためのゲームです。



地方創生がうまくいっている自治体とうまくいかない自治体、その両者の間にある違いは何かを考え、地方創生を実践する上でのハードルや問題が生じている根本原因は何かを理解することができます。

地域おこし協力隊出身者だから伝えられること

< 研修・講演実績 >

- 2018.06.04 地域連携授業「地域おこしとは？」（中部学院大学）
- 2018.09.11 第一期せきららゼミ「わたしが地域おこし協力隊になった理由」（主催：関市）
- 2018.12.05 岐阜県地域おこし協力隊初任者研修（主催：岐阜県）
- 2019.09.12 第二期せきららゼミ「地域おこし協力隊の仕事と志事」（主催：関市）
- 2021.12.03 地域おこし協力隊受入体制構築研修（関市）
- 2020.12.10 地域おこし協力隊アドバイザー派遣（飛騨市）
- 2020.12.17 岐阜県地域おこし協力隊コミュニケーション研修（主催：岐阜県）
- 2021.03.10 第三期せきららゼミ「地域おこしを生業にするということ」（主催：関市）
- 2021.09.05 地域おこし協力隊ってなにしてるんですか？（イイオンナ推進プロジェクト）
- 2021.09.24 未来茶輪「地域おこし協力隊ってなに？」（主催：名古屋都市センター）
- 2021.12.08 岐阜県地域おこし協力隊初任者研修（主催：岐阜県）
- 2021.12.16 岐阜県地域おこし協力隊研修スキルアップ研修（主催：岐阜県）
- 2022.02.16 岐阜県地域おこし協力隊研修受入体制構築研修（主催：岐阜県）
- 2022.11.16 長野県地域おこし協力隊定着支援研修（主催：長野県）



江坂 侑 / YU ESAKA

地域商社「いなかだから」代表、関市地域おこし協力隊OB

愛知県名古屋市にて広告代理店の営業マン、市役所勤務など8年間の社会人生活を送ったのち、2017年に岐阜県関市へ移住。

関市地域おこし協力隊として、全国的にも珍しい「元号をキー」にした地域おこしに励む。

元号と同字の地「平成（へなり）」から全国に地域情報を発信し、地域愛あふれる「平成みやげ」を数々企画。

平成最後の平成（へなり）の空気を詰め込んだ「平成の空気缶」は、全国ほぼすべてのメディアが取材に殺到した。

2020年3月、地域おこし協力隊の任期中に起業。コロナ禍だからこそ田舎の情報発信を支援したいと強く思い田舎専門のホームページ制作会社「地域商社いなかだから」をスタート。

コンサルティングを行うだけでなく、地域と伴走しながら、自らも現場で汗をかくスタイルがウリ。

また、岐阜県関市の休耕地を3反管理し、水稻や野菜をはじめ、特産品の「パッションフルーツ」や「原木椎茸」の生産も行なっている。